本書の特徴

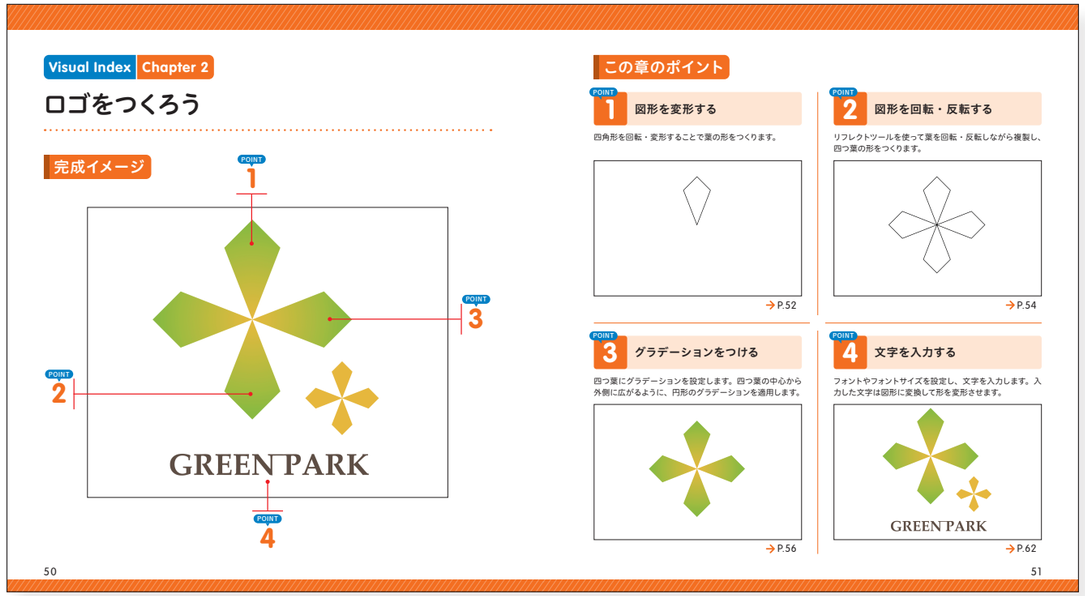
- 最初から通して読むことで、Illustratorの体系的な知識・操作が身につきます。
- 読みたいところから読んでも、個別の知識・操作が身につきます。
- 練習ファイルを使って部分的に学習することができます。

本書の使い方

本文は、1 2 3…の順番に手順が並んでいます。この順番で操作を行ってください。
それぞれの手順には、❶ ❷ ❸…のように、数字が入っています。
この数字は、操作画面内にも対応する数字があり、操作を行う場所と、操作内容を示しています。

Visual Index

具体的な操作を行う各章の頭には、その章で学習する内容を視覚的に把握できるインデックスがあります。
このインデックスから、自分のやりたい操作を探し、表示のページに移動すると便利です。



◆動作環境について

本書は、Adobe Illustrator CC 2022(以下Illustrator CC 2022と表記)を対象にしています。本文に使用している画像に関しては、Illustrator CC 2022とWindows 11の組み合わせを使っています。そのほかの環境では画面上、多少違いがありますが、学習には問題ありません。
また、MacにIllustrator CC 2022をインストールして利用する場合にWindows 11と操作が異なるところは、(　)内にMacでの操作を記載し、「macOS Big Sur」を「Mac」と表記しております。なお、本書では、ファイルの拡張子を表示した設定で解説を行っております。

Contents

Illustratorの起動・終了 …… 9
練習ファイルのダウンロード …… 12
Illustratorの操作画面について …… 14
Illustratorの基本操作 …… 16
Creative Cloudや関連するアドビのサービスについて …… 24

Chapter 1 イラストを描こう …… 25

Visual Index …… 26
01 準備をしよう …… 28
02 四角形を描こう …… 30
03 円を描こう …… 32
04 星を描こう …… 34
05 自由な線を描こう …… 36
06 手書き風の線を描こう …… 38
07 色をつけよう …… 40
08 線を設定しよう …… 44
09 ドキュメントを保存しよう …… 46
Column おすすめショートカットキー …… 48

Chapter 2 ロゴをつくろう …… 49

Visual Index …… 50
01 図形を変形しよう …… 52
02 図形を回転・反転しよう …… 54
03 グラデーションをつけよう …… 56
04 移動・複製しよう …… 60
05 文字を入力しよう …… 62
06 文字を図形にしよう …… 64
07 グループ化しよう …… 66
Column 重ね順を学ぼう …… 68

Chapter 3 名刺をつくろう …… 69

Visual Index …… 70
01 名刺の枠をつくろう …… 72
02 定規を設定しよう …… 76
03 ロゴを別のファイルからコピーしよう …… 78
04 ロゴを配置しよう …… 80
05 装飾を描こう …… 82

06 文字を入力しよう …… 84
07 整列させよう …… 88

Chapter 4 地図をつくろう …… 91

Visual Index …… 92
01 下絵を配置しよう …… 94
02 直線を描こう …… 98
03 曲線を描こう …… 100
04 折れ線を描こう …… 102
05 直線と曲線を組み合わせよう …… 104
06 線路を描こう …… 106
07 アイコンを配置しよう …… 110
08 マップを型抜きしよう …… 112
Column PDFファイルを作成しよう …… 114

Chapter 5 ポストカードをつくろう …… 115

Visual Index …… 116
01 別名で保存しよう …… 118
02 パターンをつくろう …… 120
03 リボン風のタイトルを描こう …… 124
04 エリア内に文章を流し込もう …… 128
05 写真を図形で型抜きしよう …… 130
Column 制作物に合ったカラーモードを設定しよう …… 134

Chapter 6 SNSのヘッダー画像をつくろう …… 135

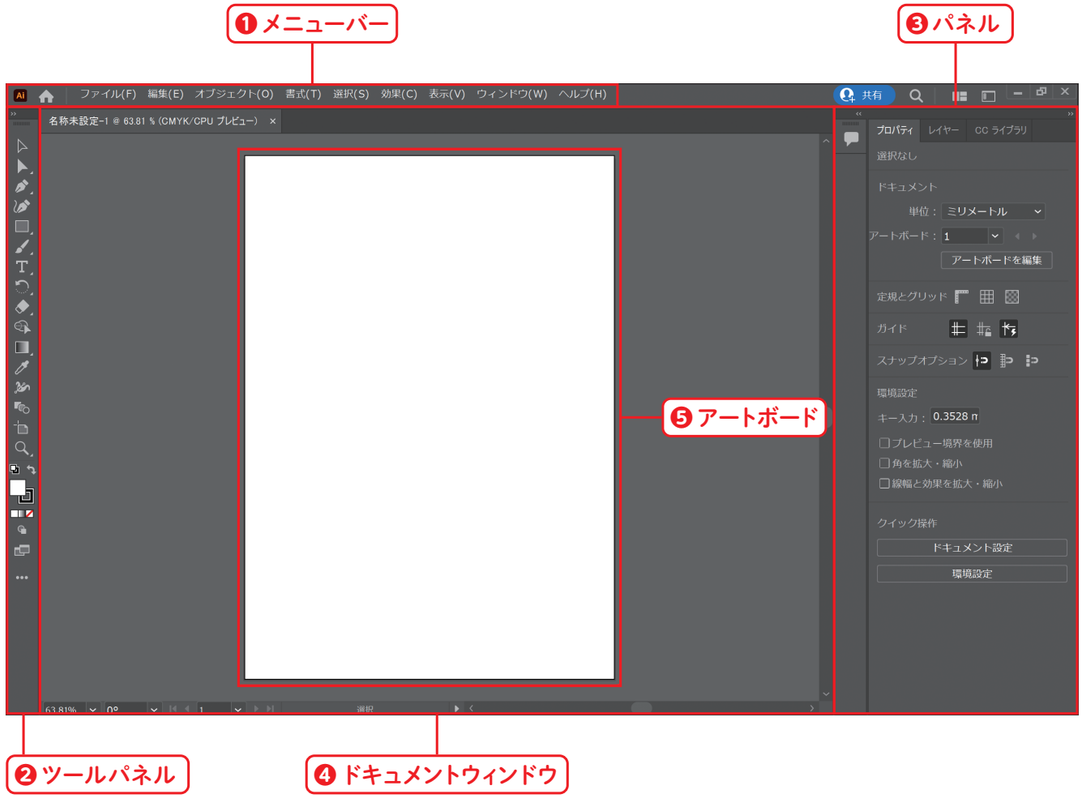
Visual Index …… 136
01 新規ドキュメントを作成しよう …… 138
02 背景を描こう …… 140
03 イラストを描こう …… 142
04 イラストを複製しよう …… 144
05 イラストを一括編集しよう …… 146
06 再配色で色を変更してみよう …… 148
07 装飾を描こう …… 150
08 文字に影をつけよう …… 152
09 Web用に保存しよう …… 154

Illustratorの環境設定 …… 156
索引 …… 157

Illustratorの操作画面について

Illustrator CC 2022を起動し、新規ファイルを作成した状態の画面について解説します。

Illustratorの操作画面



操作画面の各部名称

❶ メニューバー

作業別に分けられた各項目のメニューです。Windows版とMac版では、表示の一部が異なります。以下は、Mac版のメニューです。

Illustrator　ファイル　編集　オブジェクト　書式　選択　効果　表示　ウィンドウ　ヘルプ

❷ ツールパネル

イラストの描画や変形に使うツール類がグループごとに格納されています。使いたいツールをクリックして選択します。右下に◢のついたツールアイコンを長押しすると、隠れているツールが表示され、選択できます。

❸ パネル

イラストの設定や確認に使います。色や線幅など、各種設定に必要なパネル類がグループごとに格納されており、前面に表示されているパネルのみ操作できます。本書では ▬ を クリックして、パネルを展開した状態で作業を行います。

❹ ドキュメントウィンドウ

イラストを表示するウィンドウです。複数のドキュメントを開いているときはタブをクリックし、作業を行うドキュメントに切り替えます。

❺ アートボード

印刷可能な領域です。オブジェクトを配置してイラストやロゴなどを作成します。

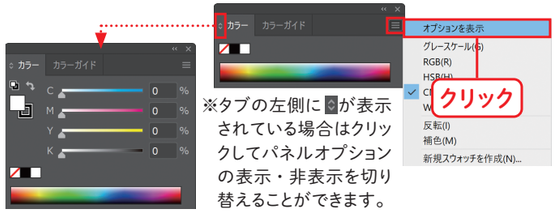
Illustratorの基本操作

パネルの基本操作

Illustrator CC 2022には、イラストを装飾するために様々なパネルが用意されています。関連するパネルはタブで前後に重ねて格納されています。非表示のパネルは［ウィンドウ］メニューからパネル名を選択して表示することができます。また、各パネルは次のような方法で扱うことができます。

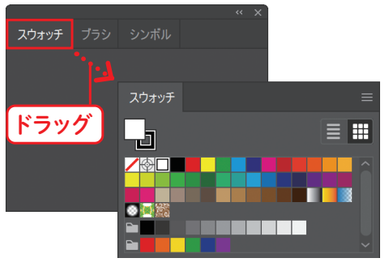
●タブをクリックして表示を切り替える

●［パネルメニュー］からオプションを選択・表示する

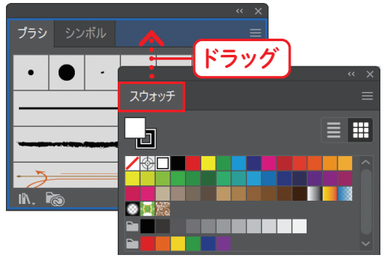


※タブの左側に◆が表示されている場合はクリックしてパネルオプションの表示・非表示を切り替えることができます。

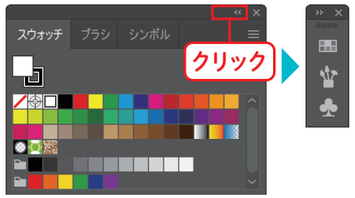
●タブをドラッグして切り離す



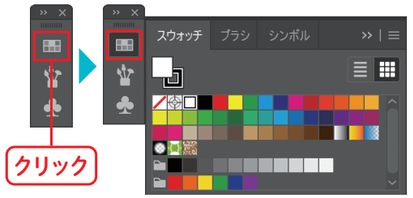
●タブをドラッグして格納する



●パネル右上の矢印をクリックしてアイコン化する



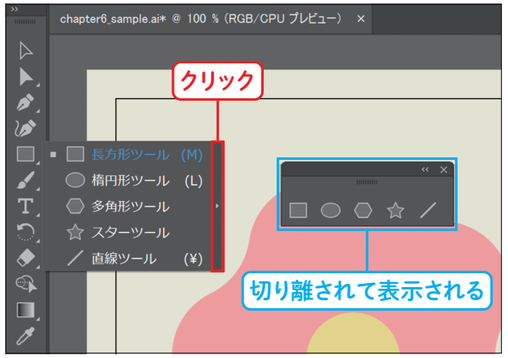
●アイコンをクリックしてパネルを表示する



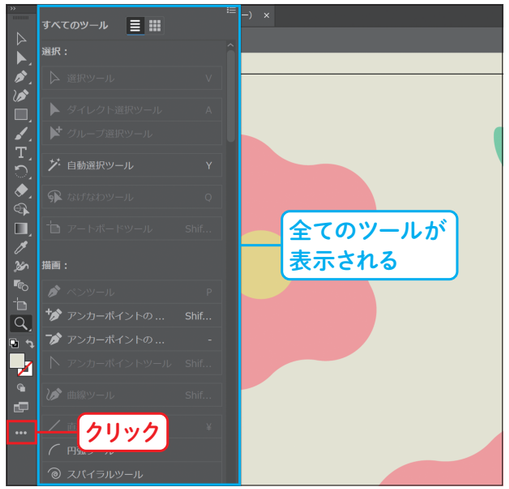
隠れているツールを選択する

右下に◢のついたツールアイコンには、関連する別のツールが隠れています。

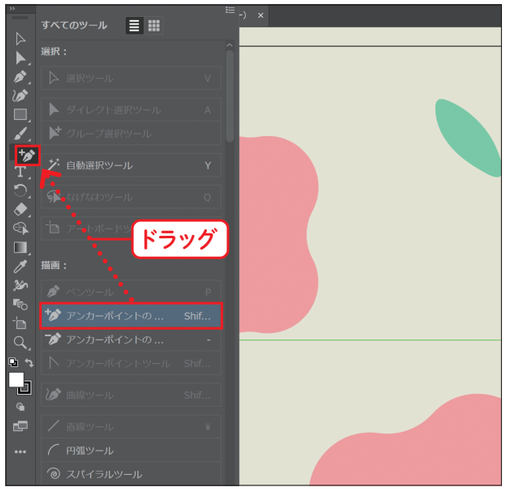
ツールアイコンを長押しするとメニューが表示されるので、使いたいツールをクリックして選択します。



また、メニューの右側にある▸をクリックすると、それぞれのツールをツールパネルから切り離して表示することができます。



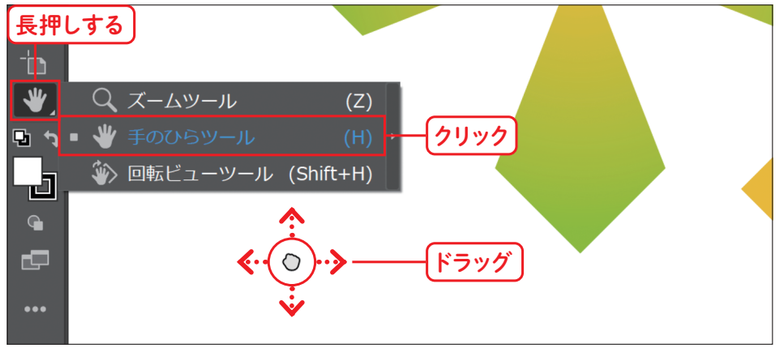
ツールパネルの下にある⋯をクリックすると、全てのツールが表示されます。



追加したいツールは、ツールパネルにドラッグすることで追加できます。また、ツールパネルから外へドラッグすることで削除ができます。

表示位置の移動

［手のひら］ツール を使うと、画面上をドラッグして表示位置を移動できます。

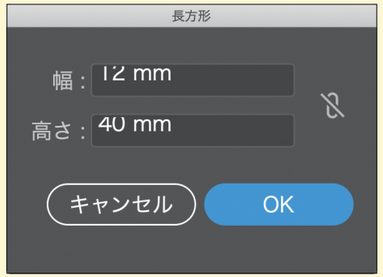


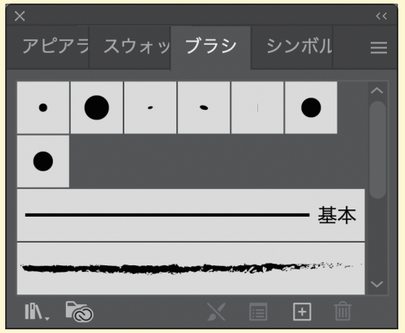
［ズーム］ツール を長押しし、［手のひら］ツール をクリックします。他のツールを選択している場合でも、スペースキーを押すと一時的に［手のひら］ツールに切り替わり、ドラッグで表示位置を移動できます。

Check ! WindowsとMacの違い

●ボタンの配置

や［OK］ボタンなど、Windows版とMac版では表示の一部が異なります。
下はMac版のパネルとダイアログボックスです。





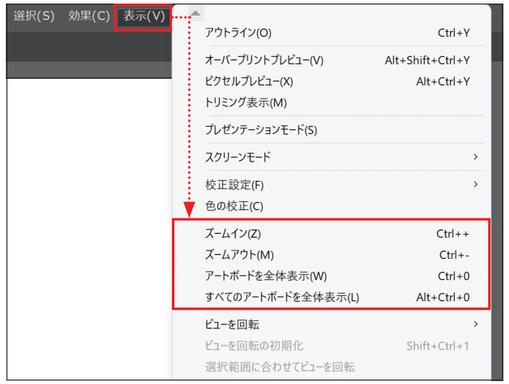
●操作に使用するキー

WindowsとMacでは操作に使用されるキーが異なります。たとえば、Windowsで Ctrl キーを使う場合Macでは command キー、Windowsで Alt キーを使う場合Macでは option キーを使用します。

画面の表示サイズの変更

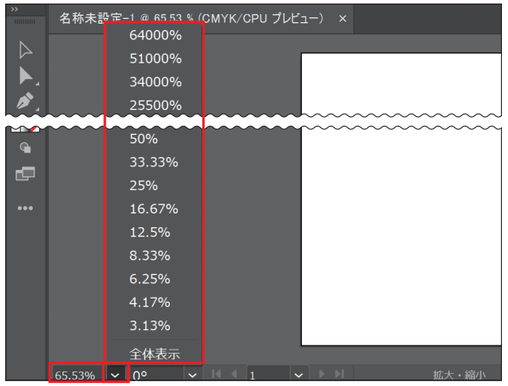
操作をしやすくするため、以下のような方法で画面の表示サイズを変更することができます。

●［表示］メニューから表示サイズの変更



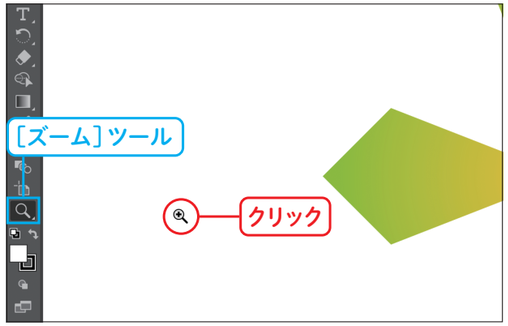
［表示］メニューから各表示設定を選択し、画面の表示サイズを変更できます。

●［ズームボックス］から表示サイズの変更



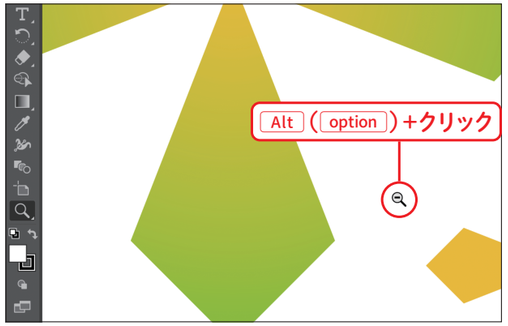
ドキュメントウィンドウの左下の［ズームボックス］を使うと、表示倍率を指定して画面の表示サイズを変更できます。

●［ズーム］ツールで画面の拡大



［ズーム］ツール で、画面上をクリックすると、画面を拡大表示できます。また、画面上を右方向にドラッグすると範囲を拡大表示できます。

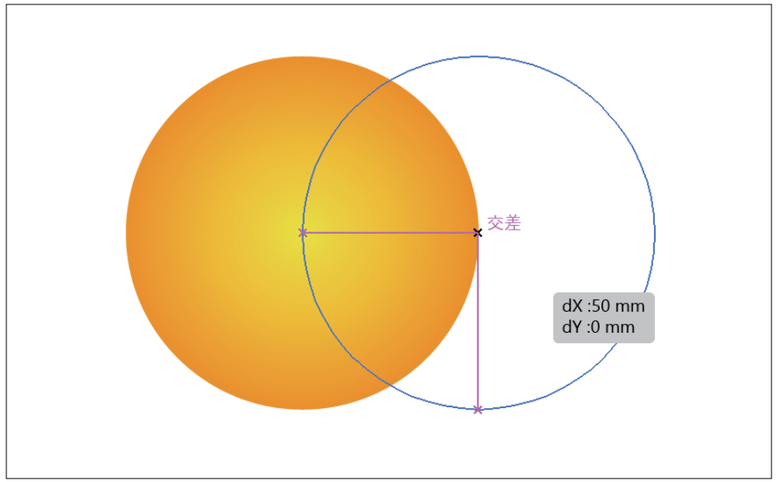
●［ズーム］ツールで画面の縮小

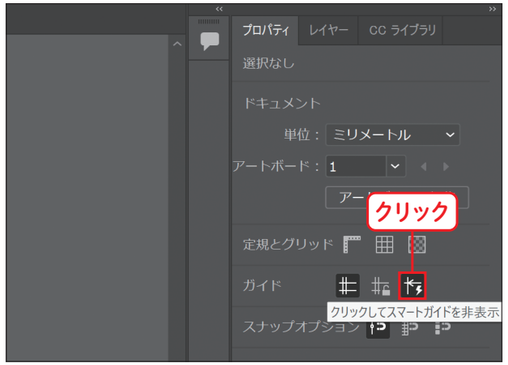


［ズーム］ツール で、Alt（Macの場合は option）キーを押しながら画面上をクリックすると、画面を縮小表示できます。また、画面上を左方向にドラッグすると範囲を縮小表示できます。

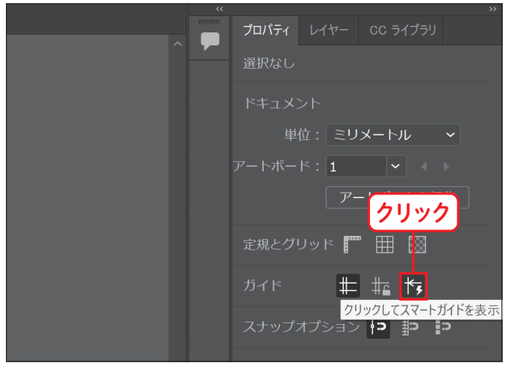
スマートガイド

スマートガイドはオブジェクトを操作するときに一時的に表示されるガイドで、オブジェクトを移動・変形する際の目安になります。初期設定では有効になっていますが、本書では無効にした状態で解説しています。





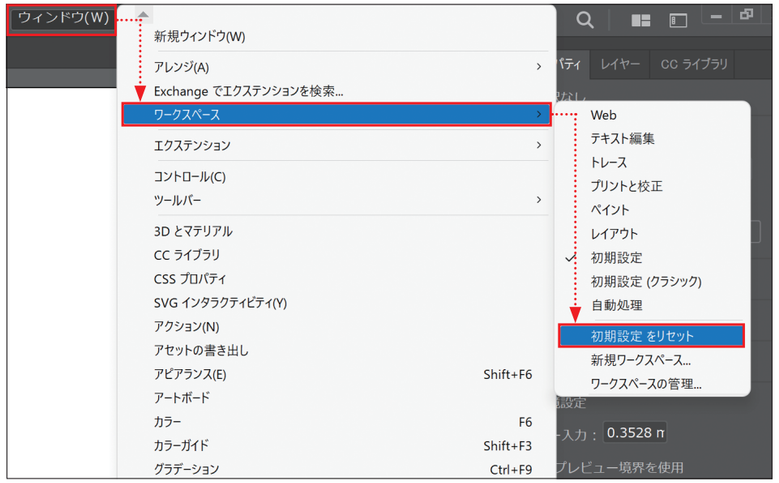
［プロパティ］パネルの［ガイド］セクションから［クリックしてスマートガイドを非表示］ボタンをクリックすると、スマートガイドが無効になります。



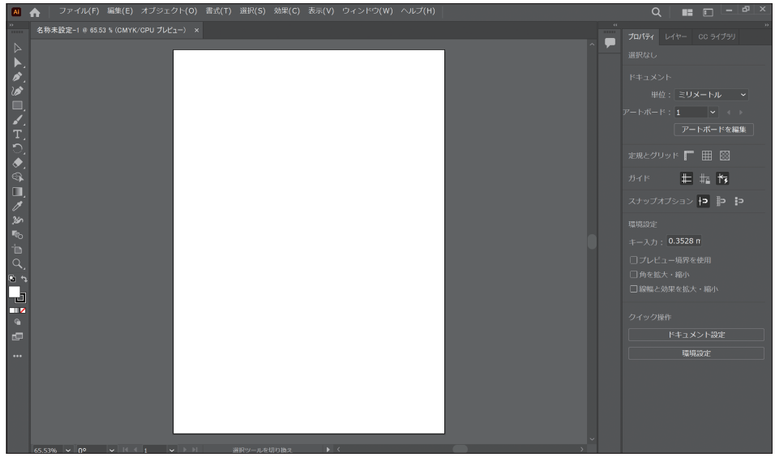
再度スマートガイドを有効にするには、［プロパティ］パネルの［ガイド］セクションから同様に［クリックしてスマートガイドを表示］ボタンをクリックします。

ワークスペースを初期設定に戻す

Illustrator CC 2022のパネルは表示内容を変更することができます。意図せぬパネルの移動などで作業画面を変更してしまった場合でも、初期設定に戻すことができます。



初期設定に戻すには、［ウィンドウ］メニュー→［ワークスペース］→［初期設定をリセット］の順にクリックします。

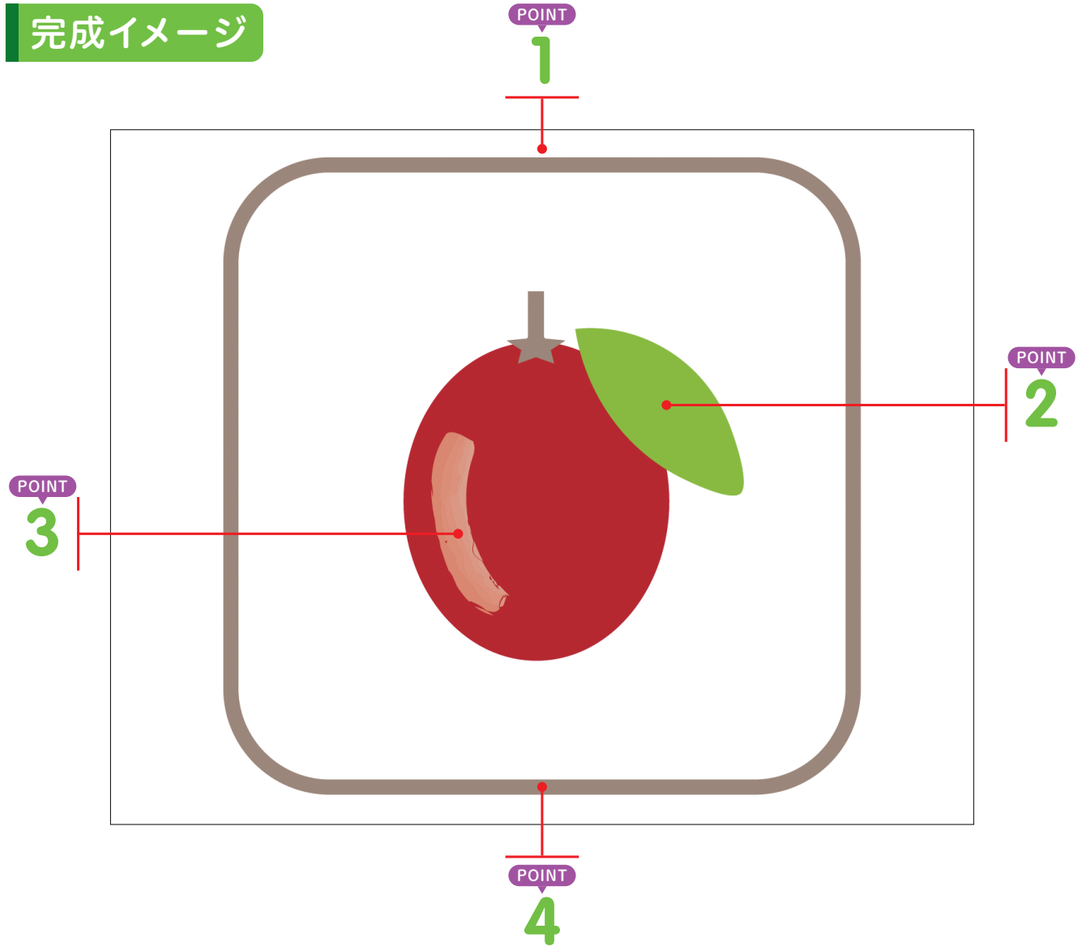


表示がリセットされ、初期設定の状態に戻ります。

Visual Index Chapter 1

イラストを描こう

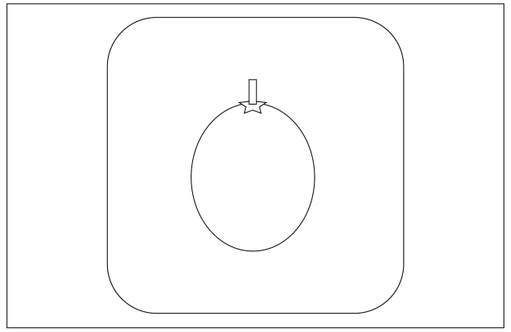
完成イメージ



この章のポイント

POINT 1 図形を描く

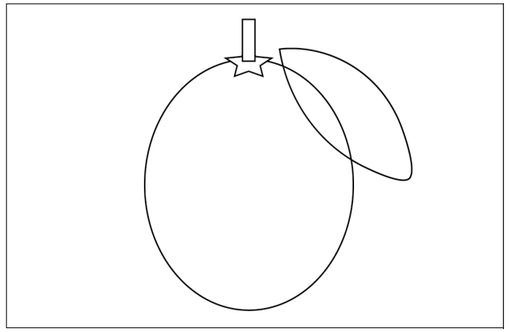
Illustratorにあらかじめ用意されている図形を描くツールを使い、四角形や円、スターなどさまざまな図形を描きます。



→P.30

POINT 2 自由な線を描く

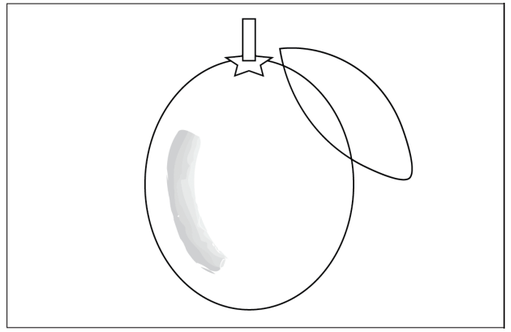
鉛筆ツールを使って自由な線を描きます。紙に鉛筆で絵を描くように直感的に扱うことができます。



→P.36

POINT 3 手書き風の線を描く

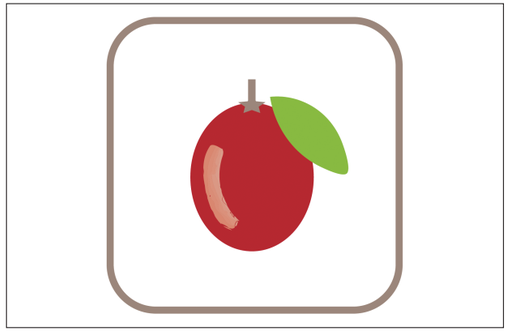
ブラシツールで手書き風の線を描きます。ブラシライブラリを使うと、筆や鉛筆で描いたような手書き風の線が描けます。



→P.38

POINT 4 塗りや線を設定する

描いた図形や線にカラフルな色をつけます。また、線パネルを使って線の太さを設定します。



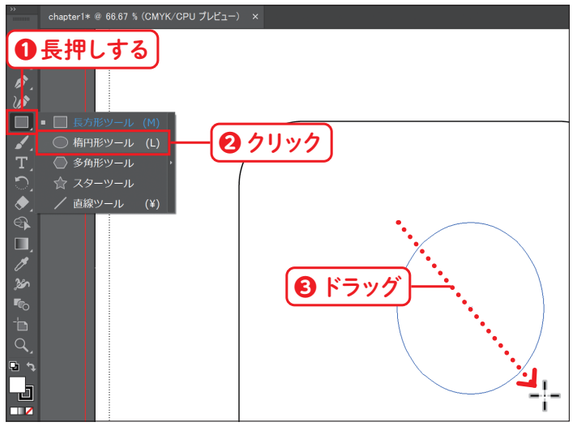
→P.40

Lesson

03 円を描こう

練習ファイル　0103a.ai
完成ファイル　0103b.ai

楕円形ツールを使って、円を描きます。また、描いた図形を移動する方法も学びます。

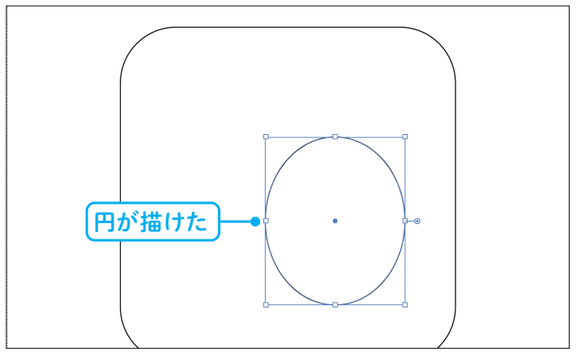


1 円を描く

［長方形］ツール を長押しし❶、［楕円形］ツール をクリックします❷。アートボードの図のような位置で斜めにドラッグします❸。

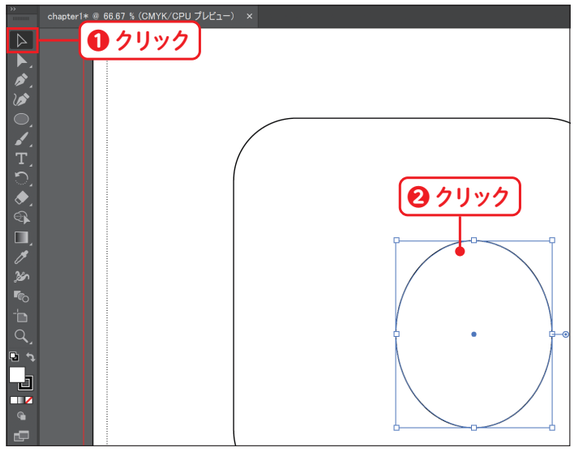
MEMO

［楕円形］ツールで Shift キーを押しながらドラッグすると、正円が描けます。



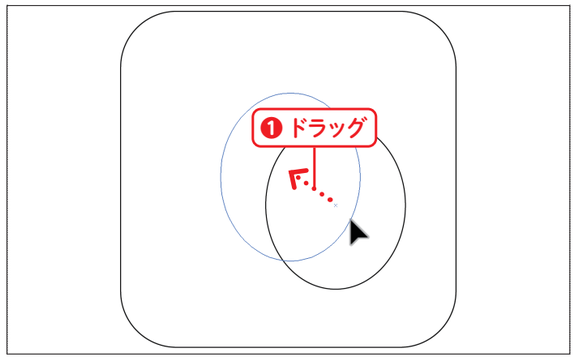
2 円が描けた

円が描けました。このままでは背景の正方形とずれてしまっているので、円の位置を移動させます。



3 円を選択する

描いた円の位置を移動させたい場合は、［選択］ツール を使います。［選択］ツール をクリックし❶、円をクリックして選択します❷。

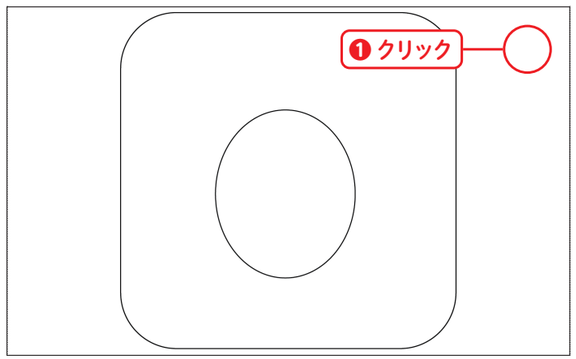


4 円を移動する

円を移動させたい位置までドラッグします❶。

MEMO

［選択］ツールで図形をクリック、またはドラッグすると、図形の周りに「バウンディングボックス」という枠が表示され、選択された状態になります。バウンディングボックスについてはP.39を参照。



5 選択を解除する

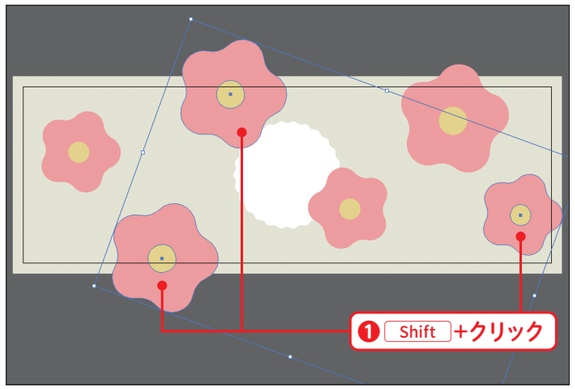
画面の空白をクリックし❶、選択を解除します。

Lesson

06 再配色で色を変更してみよう

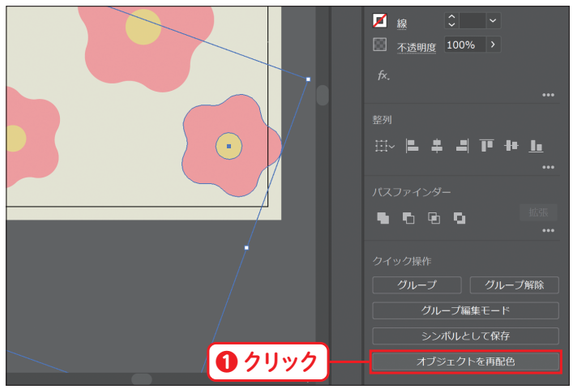
練習ファイル　0606a.ai
完成ファイル　0606b.ai

「オブジェクトを再配色」を使って、色を置き換える方法を紹介します。簡単な操作でカラーバリエーションを増やすことができます。



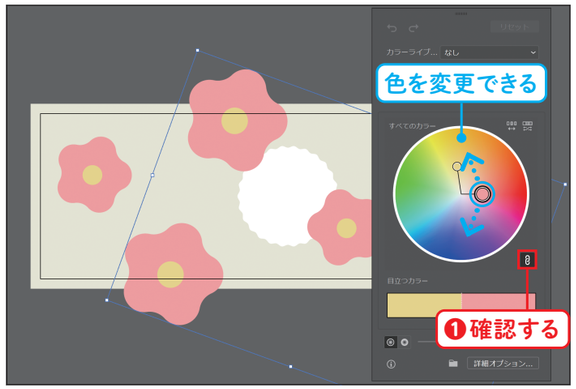
1 オブジェクトを選択する

［選択］ツール で再配色をしたい花のイラストを選択します。Shift キーを押しながらクリックすると❶、複数のオブジェクトを選択することができます。



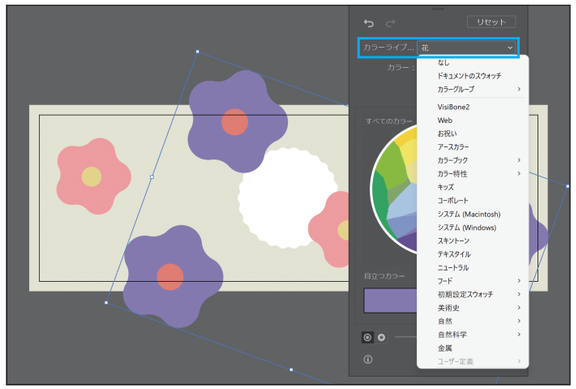
2 ［オブジェクトを再配色］ダイアログボックスを表示する

［プロパティ］パネルの［クイック操作］セクションから［オブジェクトを再配色］をクリックします❶。［オブジェクトを再配色］ダイアログボックスが表示されます。



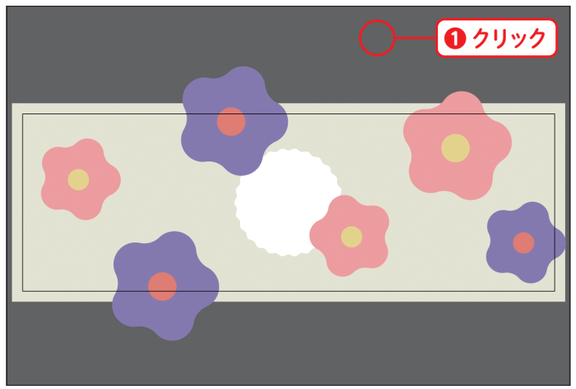
3 色を変更する

現在の色がカラーホイールの中に表示されています。［ハーモニーカラーをリンク、または解除］ボタンが になっているのを確認し❶、カラーマーカー（二重の輪）を動かすとカラーバランスを保ったまま色が変わります。



4 カラーライブラリを変更する

［カラーライブラリ］の から、事前定義されたカラーライブラリが選択できます。［リセット］ボタンから元の色に戻すことができるので、いろいろなカラーライブラリを試してみましょう。



5 再配色を終了する

色の変更が終わったら、［選択］ツール で画面の空白をクリックします❶。［オブジェクトを再配色］ダイアログボックスが消え、選択も解除されました。